

主催：立教大学大学院文学研究科日本文学専攻

共催：青山学院大学文学部日本文学科 / コロンビア大学東アジア言語・文化学部

後援：立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科 / 立教大学 ESD 研究センター / 立教大学観光学研究所 / 立教大学日本学研究所 / 立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター

【第1日目】1月9日（土）

- 13:00～13:05 開会の挨拶 加藤睦（立教大学）
- 13:05～14:30 基調講演「四季の文化—二次自然の表象と社会」
講師：ハルオ・シラネ（コロンビア大学）
司会：加藤睦（立教大学）
- 14:30～14:40 休憩
- 14:40～16:30 シンポジウム1「二次自然と野生の自然」
司会：野田研一（立教大学）
講師：加藤幸子（作家）/ 小峯和明（立教大学）/ 佐藤泉（青山学院大学）/
ジャック・ストーンマン（ブリガム・ヤング大学）/ 北條勝貴（上智大学）/
舛谷鋭（立教大学）/ 山里勝己（琉球大学）
コメンテーター：沖森卓也（立教大学）/ 千石英世（立教大学）
- 16:30～16:45 休憩
- 16:45～18:00 シンポジウム1 質疑
- 18:30～ 懇親会
生け花パフォーマンス 岩田真紗美（青山学院大学卒業生）

【第2日目】1月10日（日）

- 10:00～12:00 ワークショップA「自然描写の近代と前近代」
司会：藤井淑禎（立教大学）
パネリスト：王成（中国首都師範大学）/ 北川扶生子（鳥取大学）/ クリスティーナ・ラフィン（ブリティッシュコロンビア大学）/ 柴山紗恵子（コロンビア大学）/ 新保邦寛（筑波大学）/ 照沼麻衣子（立教大学）/ 天満尚仁（立教大学）/ ビーター・フルッキガー（パモナ大学）
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～15:00 ワークショップB「大衆文化の表象と環境」
司会：鈴木登美（コロンビア大学）
パネリスト：片山宏行（青山学院大学）/ 中村優子（立教大学）/ 丹羽みさと（立教大学）/ 波戸岡景太（明治大学）/ 浜田雄介（成蹊大学）/ 藤井貴志（立教大学）/ 山本洋平（立教大学）/ 若松伸哉（青山学院大学）
- 15:00～15:30 休憩
- 15:30～17:00 シンポジウム2「中央と周辺」
司会：篠原進（青山学院大学）
講師：大屋多詠子（青山学院大学）/ 加藤定彦（立教大学）/ ケヴィン・M・ドーク（ジョージタウン大学）/ 小林実（十文字学園女子大学）/ 松田宏一郎（立教大学）/ 安原真琴（立教大学）
- 17:00～18:30 全体討論
司会：渡辺憲司（立教大学）
総括コメンテーター：石川巧（立教大学）/ 小嶋菜温子（立教大学）/
サカエムラカミ・ジルー（ストラスブール大学）/ ミハエル・キンスキー（フランクフルト大学）/ 結城正美（金沢大学）
- 18:30 閉会の挨拶 渡辺憲司（立教大学）

「環境問題」はすぐれて政治的、社会的な課題としてすでに重視されているが、文学からのアプローチは、この問題が本質的な意味で「文化的」な課題でもあることを示唆しようとするものである。＜自然＞と人間との関係は、文化と知の根源にかかわる問題であり、それは言語、思想からテクノロジーに至る多様な＜文化＞の諸相に透底する共通基盤である。

国際シンポジウム

エコクリティシズムと 日本文学研究—自然環境と都市

会場：立教大学 池袋キャンパス太刀川記念館3F 多目的ホール

使用言語：日本語

参加費無料・申し込み不要

2010年1月9日 [土]・10日 [日]

お問い合わせ先

国際シンポジウム「エコクリティシズムと日本文学研究」運営委員会（ESD 研究センター内）

TEL & FAX: 03-3985-2686 E-mail: esdrc@grp.rikkyo.ne.jp

URL: <http://www.rikkyo.ac.jp/events/2010/01/6140/> 《発表要旨を公開しています》